

# この課題に取り組むために必要なもの。

- ▶ 「国語総合」の教科書
- ▶ 「国語総合」のノート
  - ルーズリーフでもよいですが、必ず国語総合用のファイルを準備し、そこに挟むこと
- ▶ 古語辞典（電子辞書も可）。
  - ネットを使ってもいいですが、必ず「古語」の意味を調べてください。現代語とは同じ言葉でも意味が違います。
- ▶ 筆記具



# この課題ですること。

- ▶ 今回は、

ノートを作りましょう

 ←このマークがでてきたら、ノートへの書き込みをします。
- ▶ それ以外のところは、しっかり読んで理解しましょう。



うじしゅいものがたり

# 『宇治拾遺物語』

見のそら寝①



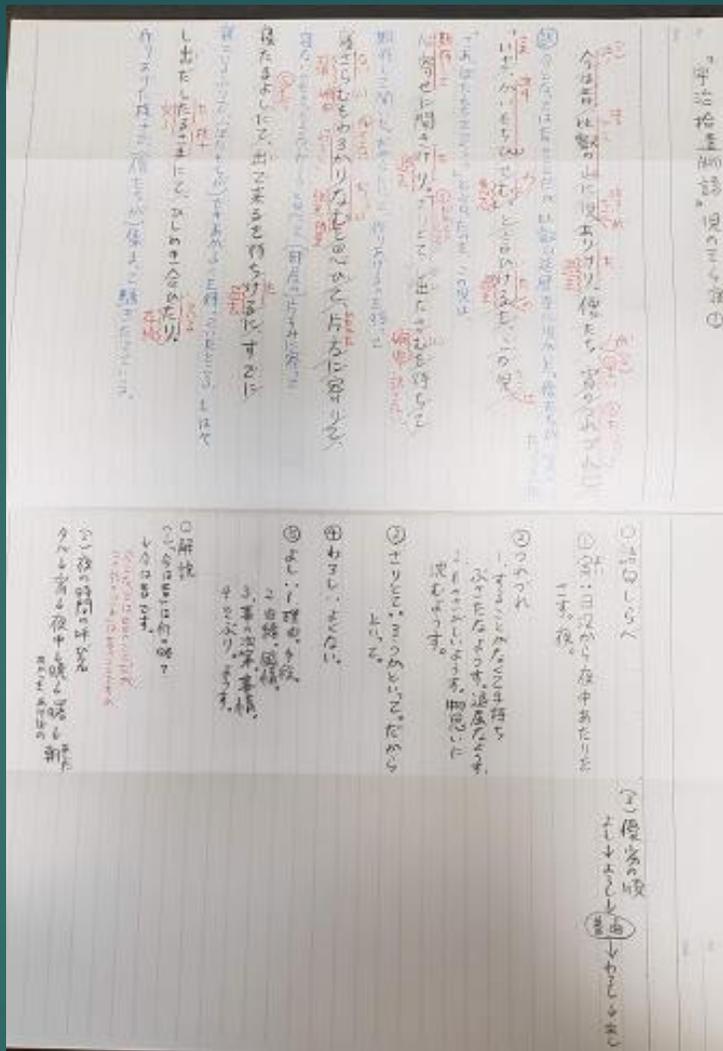
# 今回の内容

ノートの作り方（古文）

- 1 『宇治拾遺物語』について
- 2 予習1 本文を写す
- 3 予習2 語句調べ

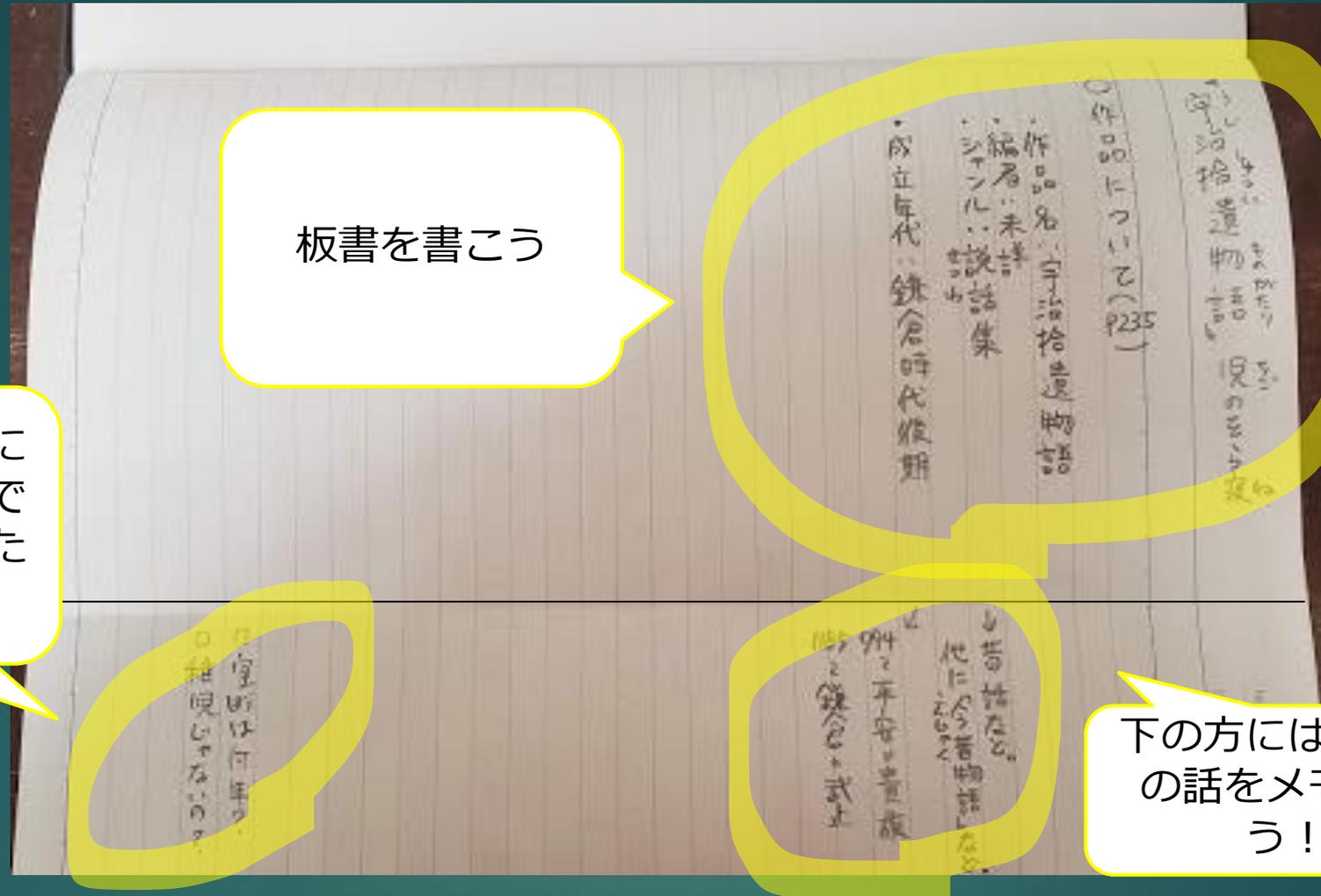


# ノートの作り方(古文) ①



細かいところは各自の自由ですが、  
「後で見返して勉強できるノート」を目指してください。





本文に入る前には、**作品の概要**などを学習します。  
これは、「古文入門」のときと同じように、  
「**板書を写し**」、「**自分でメモを**」とりましょう。



## ノートの作り方（古文）②

では、次のスライドの内容を使って、ノート作りをしましょう。

吹き出しの中に書いてあることが、先生の口頭での説明、

それ以外が、板書だと思って書きましょう。

「古文入門」のときと同じく、

1行を写す間に顔を上げていいのは3回だけです。



# 『宇治拾遺物語』児のそら寝

## ○作品について

このお話は、  
教科書235ページに  
も書いてあります。

・作品名…宇治拾遺物語

・編者…未詳

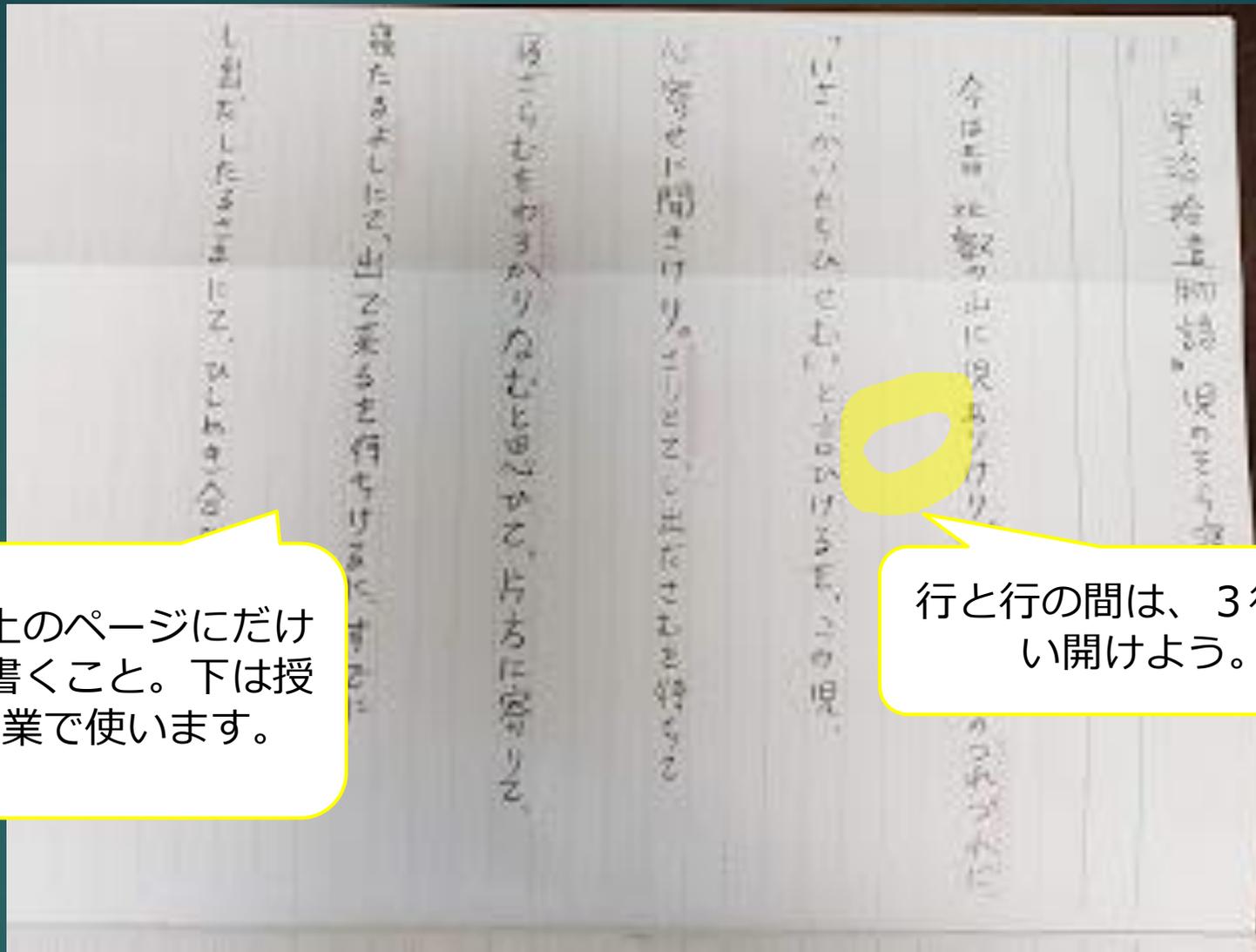
せつわしゅう

・ジャンル…説話集

説話というのは、昔話などのこと  
です。  
説話集には、ほかに『今昔物語こ  
んじゃくものがたり』などがあり  
ます。

・成立年代…鎌倉時代後期

794年〜平安時代(貴族の時代)、  
1185年〜鎌倉時代(武士の時代)  
です。古文ではこれらの時代に書  
かれた作品をたくさん扱うので、  
覚えておきましょう。



上のページにだけ書くこと。下は授業で使います。

行と行の間は、3行くらい開けよう。

さて、本文です。  
本文は、ノートの上側のページに写します。  
授業でいろいろ書き足すので、余裕を持って、大きめの字で書くといいですよ。





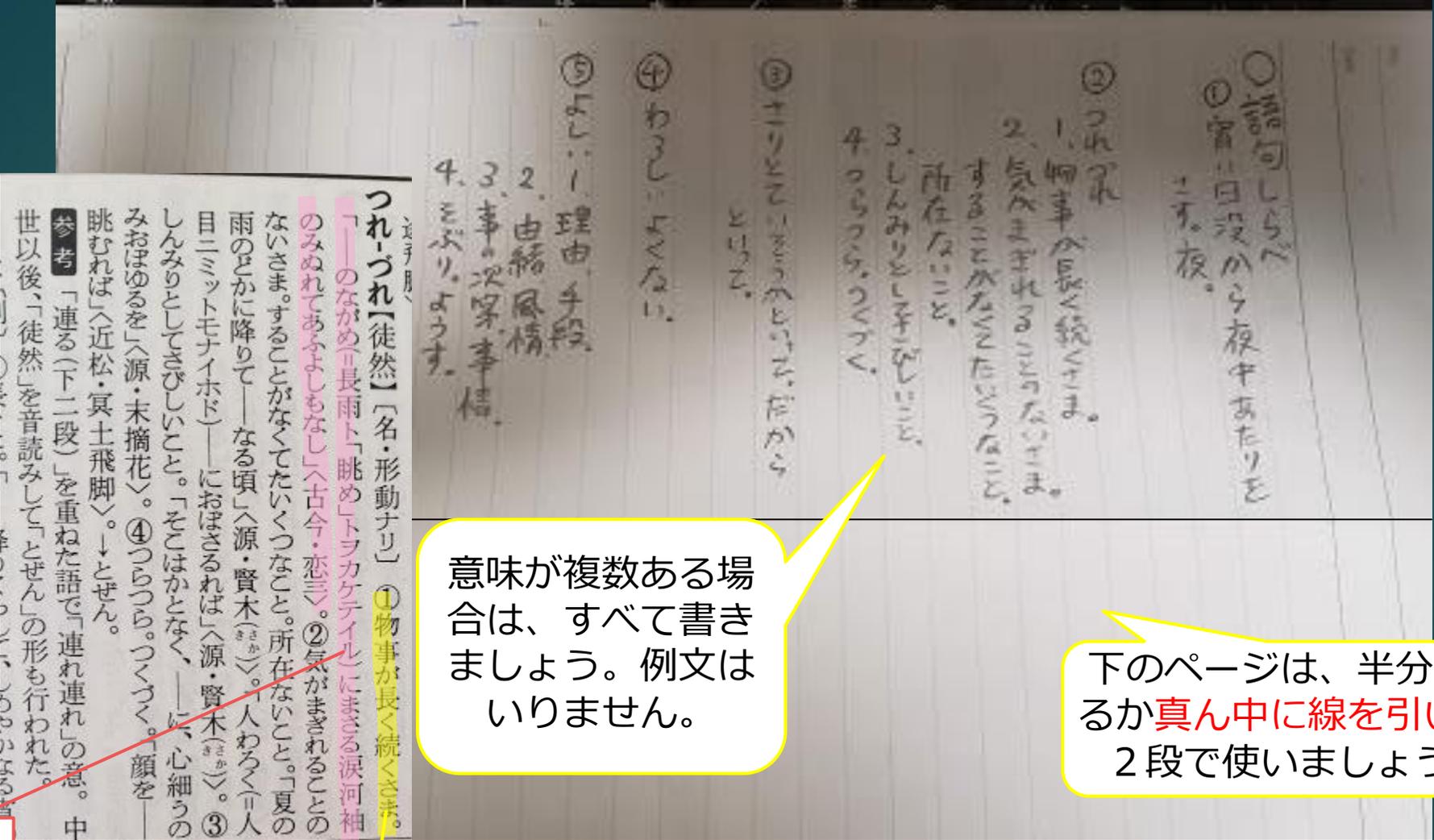
# 指示

教科書

230ページの1行目「今は昔」から、  
4行目「ひしめき合ひたり」までを  
写しましょう。

今度は、  
「、「や」。「」で区切られたところまで  
を写す間に、  
顔を上げるのを3回までにしましょう。

短いところもあるので、  
できるだけ顔を上げる回数を  
減らせるようにがんばりましょう！



意味が複数ある場合は、すべて書きましょう。例文はいりません。

下のページは、半分に折るか真ん中に線を引いて、2段で使いましょう。

ピンクの線...  
書かない

黄色の線...  
書く

最後に、語句しらべをしましょう。



# 指示

次のスライドに出てくる言葉の意味を古語辞典で調べ、ノートの下ページに書きましょ。し。



○語句ししらへ

①宵 (よひ)

②つねづね

③やうやく

④わろし

⑤よし (由)



## ノート作り(古文)確認①

まったく同じでなくてもかまいません。  
必要なことが書けているか、  
確認しましょう。

〇作品について (P235)

作品名 宇治拾遺物語  
編者 未詳  
ジャンル 談話集  
成立年代 鎌倉時代後期

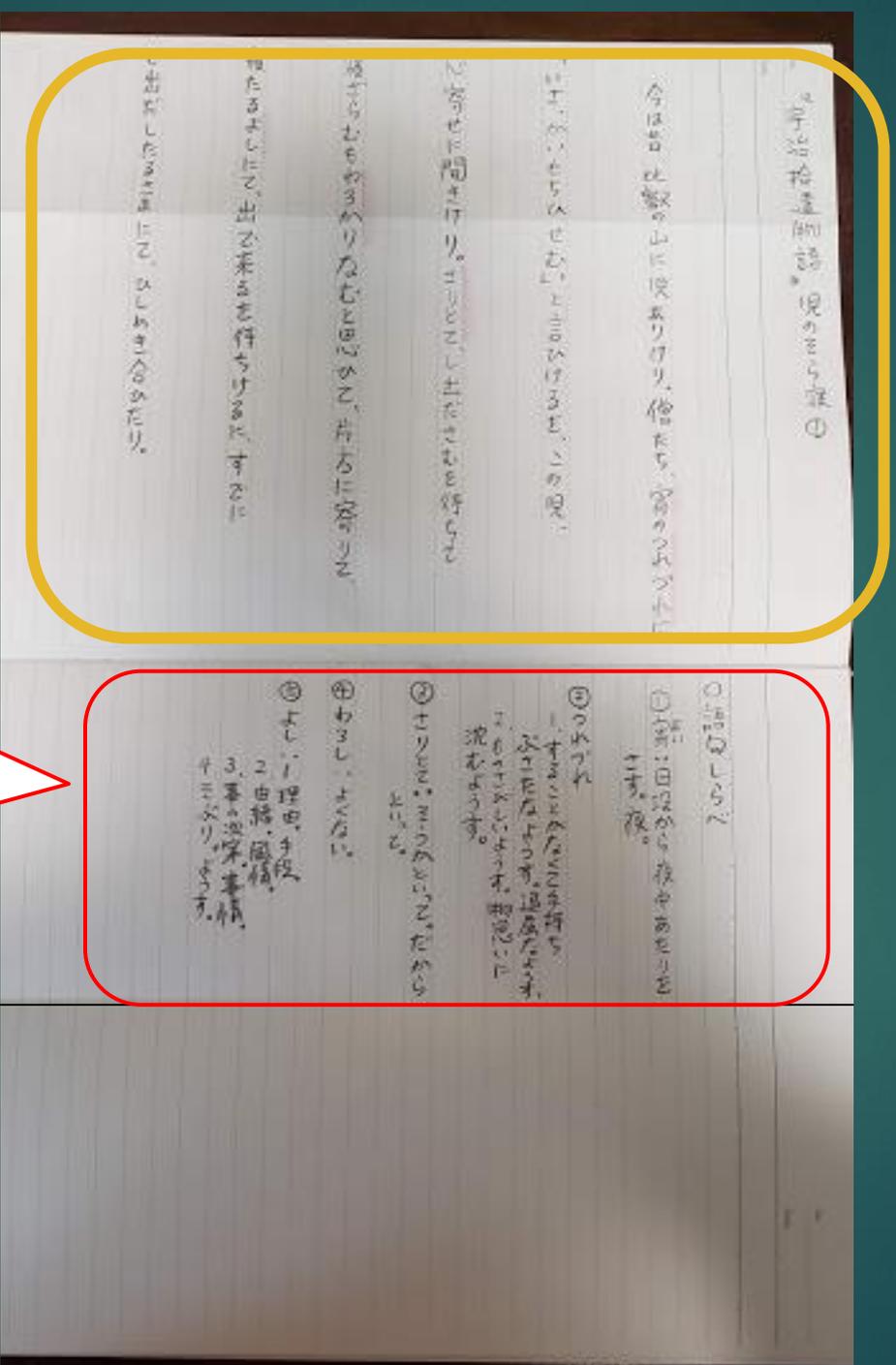
宇治拾遺物語  
宇治拾遺物語  
宇治拾遺物語

しるす話など。  
他に「宇治拾遺物語」など。  
1142 平安朝貴族  
1185 鎌倉朝武士

宇治拾遺物語はいつ年？  
〇 権威は？



## ノート作り(古文)確認②



本文

語句調べ

おおむね同じようにできていたら大丈夫です！



お疲れ様です



見のそら寝①

『宇治拾遺物語』

うじじゅういものがたり

